



福島民友新聞株式会社

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

事業者としての取り組み推進／職場環境づくり



2023年8月、社独自の「みんゆうゼロカーボン宣言」を発表し、事業者として二酸化炭素（CO₂）排出量削減の目標を設定しました。

県の「見える化」ツールを活用し、2050年までに電気、ガス、水道について年平均5%のCO₂削減を目標に掲げました。

また、環境省の国民運動「デコ活」への参加、仕事と子育ての両立を目指した「くるみん認定」、多様な人材の活躍による人権意識の向上など事業者としての取り組みを進めています。

さらに、SDGsの取り組みについて考える社内組織を再編しました。社員参加のゴミ拾いをはじめ、社内の「ゴミの分別化」「会議資料のペーパーレス化」など、紙面、事業による情報発信だけでなく、社員一人ひとりが自分ごととして捉えることのできる会社を目指しています。

福島民友新聞社は1日、県が掲げる脱炭素社会の実現に向けて「みんゆうゼロカーボン宣言」をします。新聞社として、環境関連の情報を発信し、社会の意識向上と啓発につなげます。事業者としては、「二酸化炭素（CO₂）の排出量削減に取り組む、地球温暖化に対する社会的責任を果たしていきます」。

県の「見える化ツール」から本社の電気、水道、燃料などのCO₂排出量を把握し、2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロにする県のロードマップ（工程表）の削減目標値を参考に「年平均5%」のCO₂排出

みんゆうゼロカーボン宣言

情報発信、CO₂削減を推進

量削減を目標としました。すでに本社の照明器具の発光ダイオード（LED）化をはじめ、社内文書のペーパーレス化、クールビズの推進などに取り組んでいます。6月に設立された県のふくしまカーボンニュートラル実現会議の構成団体として、「ふくしまゼロカーボン宣言」事業にも参加しました。

持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた国連の「SDGメディアコンパクト」や、環境省の「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動（デコ活）」にも加わり、歩みを進めます。

【2023年8月1日付 福島民友紙面
みんゆうゼロカーボン宣言】

主な取組②

報道や事業を通して県民とともに持続可能な社会の実現を目指す



新聞業の報道、営業、事業において、「誰ひとり取り残さない社会実現」というSDGsの理念を県民と共有し、解決に向けて行動に移していくことを目指しています。

企画ワッペン「子どもに未来を」「健康長寿」「プラスチック危機」で関連記事を目立つよう工夫し、紙面を通じて問題提起や啓発に取り組んでいます。本紙「ジュニア情報局」や出前講座「まなぶん」など授業で活用できるコンテンツもそろえ、将来の福島を担う人材育成を応援しています。

事業では「うつくしま・みずウオーク」や「サンシャインマラソン」などを展開し、環境共生と健康を考える機会を提供しています。



【うつくしま・みずウオーク】



【SDGメディアコンパクト加盟】

会員と連携可能な強み

健康をテーマに福島医大と連携協定を締結しているほか、各種活動で行政・教育機関、企業、民間団体などと幅広く連携しています。

会員と連携して取り組みたい課題

NIE、NIBでSDGsの学び、共有の機会を作るなどして次世代を担う人材の育成に連携して取り組みたい。

〒960-8648 福島県福島市柳町4-29

【HP】<https://www.minyu-net.com/>

【TEL】024-523-1195

【MAIL】somu@minyu-net.com（担当：加藤）

